

事業番号	事務事業名	間伐材運搬費補助事業	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
03911	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	阿部 良文
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等	森林法 鏡野町林業振興促進対策補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	搬出間伐の促進のため、間伐材の搬出にかかる経費の一部を補助する。	近年の林業生産活動の停滞や高齢化等を背景として、適時適切な森林施業が行われない森林が増加しており、また木材価格の低迷により収益性が悪化しているため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町内人工林	→ ア 町内人工林面積	ha	見込 実績	26,000 22,341	26,000 21,701	21,701 21,633	21,633	21,633
イ	→ イ		見込 実績					
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 優良な人工林の形成する	→ ア 間伐実績面積	ha	目標 実績 達成率	650 457 70.3%	650 370 56.9%	700 274 39.1%	400	425 64.5%
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 搬出間伐の実施	→ ア 搬出間伐材積	m ³	目標 実績 達成率	10,000 9,551 95.5%	10,000 15,244 152.4%	10,000 8,067 80.7%	11,000	11,000 73.3%
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 06	項 02	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号	
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	20	02	間伐材運搬費補助事業					03911	
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算 (千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	16,807	26,845	19,404	19,404	19,404	-7,441	一般財源	16,806	26,844	14,230	19,404	19,404	-12,614
合計	16,807	26,845	19,404	19,404	19,404	-7,441	合計(A)	16,806	26,844	14,230	19,404	19,404	-12,614
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1	
	延べ業務事務時間						20	20	20	20	20	20	
	人件費計(千円)(B)						68	70	67	67	67	67	-3
最終予算額		19,404 千円	予算執行率	73.3%	トータルコスト(A+B)		16,874	26,914	14,297	19,471	19,471	-12,617	
主な 支出事業内容 (予算)	委託料	2,904 千円					主な 支出事業内容 (決算)	委託料	2,130 千円				
	補助金	16,500 千円						補助金	12,100 千円				

事業番号	03911	事務事業名	間伐材運搬費補助事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 木材価格は依然として低調であり、森林所有者の経営意欲は低いままである。 高性能林業機械の導入や林齢の高齢化によりヘクタール当たりの搬出材積は増加傾向にある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 平成29年度に補助金単価を増額している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 他の自治体より手厚い補助であると評価されている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	本事業により森林所有者の施業意欲が向上し、間伐が行われることにより、森林整備の推進・林業の振興へ結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	間伐を行うことは、木材生産だけではなく、水源涵養や土砂流出の防止などにつながり、公益的機能の発揮のためにも町の関与が妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	本事業により一定の間伐が行われており、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	間伐面積は目標値を下回っているものの、齢級の高い森林が増え、ha当たりの搬出材積が多くなっていることにより、搬出材積は概ね目標水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	事業を廃止した場合は、施業意欲の低下が懸念される。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	補助金交付事務であり最小限の事務のため、改善余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事業費を削減するには、補助単価を減額するしかく、施業意欲の低下につながりかねない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	最小限の事務のため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町内に森林を所有するものを対象としており、偏りはない。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	森林所有者の経営意欲を喚起する事業であり、本事業により間伐が促進されている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 原木価格が現在、上昇しており、このまま高い水準を維持するようであれば、補助単価の見直しを行う必要がある。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								